

国際基準と専門監査人

International Standards and Specialist Inspectors

清水恵子

(国際基準委員会・専門監査人部会)

システム監査学会36回研究大会

2022年6月10日

国際基準 1

SC40WG1の取組

- 「ISO/IEC38503：2022」 Information technology — Governance of IT — Assessment of the governance of IT 2022年1月公開
 - Assesmentであり、AUDITではなくセルフアセスメントから外部の専門家を
利用するまで含む。
 - ITガバナンスのアセスメントは成熟度モデルを利用
 - 38503 JIS化；2022年度に実施予定
 - 38500に変更があっても方法論は参考になりJIS化が期待される
- 38500シリーズについては、ガバナンス部分がJIS化されている。
 - JIS Q 38500：2015 情報技術 ITガバナンス
 - システム管理基準が参照している。

詳細は公表されているISOやJISでご確認をお願い致します。

国際基準 2

- CD 3 8 5 0 0 の検討継続中：現在非公開DISで公開
- 3 8 5 0 0 シリーズの見直し？
 - 38500:情報技術-組織のための IT ガバナンス
 - 38501:情報技術のガバナンス -導入
 - 38502:情報技術のガバナンス-フレームワークとモデルなどが対象
 - 38503：ITガバナンスのアセスメント
- ISO 37000:2021 Guidance for the governance of organizations公開済み
- 3 8 5 0 0 との関係は 3 7 0 0 0 の原則は引用される

国際基準 3

- 今後も継続する課題
- コーポレートガバナンスとITガバナンスとの関係
 - ガバナンス原則の組織目的は、どのようにITの目指す成果、目標となるか
- ITガバナンスとITマネジメントの区分
- ITガバナンス：共通の認識を持ちたいが強制規範なのか
 - 各国の法令のガバナンス体制の違い
 - 文化言語による違い：コンテクスト：翻訳の限界
- 国を超える取引の増加：法令の制限罰則の違い
- 共通でなければならぬ点と変える点はなにか
 - 標準化による利点
 - 個別組織、業態で特殊事情がある
- ITガバナンスの日本での普及、システム監査により日本のIT力を高める

専門監査人 1

- 活動報告（情報セキュリティ：個人情報保護：会計システム）
 - 現状では専門監査人部会独自の研究なし
 - 個人での活動、他グループでの活動あり
- 専門監査人は有資格者を指す。
- スキルアップ研修：2022年は未定
 - 昨年はDXで実施
 - システム監査のスキルアップをテーマで設定する方針は維持
- 専門監査人の見直しは2022年度の課題
 - 規定の見直し未了2022年度
- 専門監査人の意義：スキル維持と認定
- 組織に有効な監査とは何か
- 専門の意義とは：各専門領域の見直し

専門監査人 2

- 専門監査人資格認定規則から解析すると
- 専門監査人としてシステム監査の知識経験は基盤
 - システム監査基準に基づく監査ができること。
 - 監査能力：システム監査技術者試験に合格していること。または、これと同等の能力があると認定審査会が認めた者で関連資格を有していること。
- システム監査知識プラス専門分野知識により監査ができるのが専門監査人
 - 基の発想からするとITも専門化している認識。ITの基礎知識 + α
 - 新たな基準や法令が登場し、専門知識が求められた。
- 専門知識の分野はIT関連分野とIT以外（人材育成の課題）
 - 会計知識なしの会計システム開発難しい
 - 情報セキュリティ、個人情報保護、会計システムは時代の要請
 - 全ての分野で基盤がITに移行している
 - + α は具体的な資格？規格やガイドラインなのか？

専門監査人 3

- 既存分野でも更に専門的分野が細分化している。
 - 法令やガイドライン増加
 - どのガイドを参照するのか
 - 専門として学ぶべきは何か
- DXについてIT部門が会社を経営するのか？ITと経営（ガバナンスとマネジメント）
 - DXとはどのような専門性なのか
 - DXの監査とはなにかDXの開発ではない
 - DX定義は経済産業省の定義：格付け
 - 経済産業省「システムガバナンスの在り方に関する検討会」のとりまとめ資料参照
 - 経済産業省デジタルガバナンスコード
- システム監査を軸として深度をもつ専門分野プラス他の関連分野の知識も理解できる
- 新たな発想での専門視点はないか検討；新たなスキルアップのスキルはなにか
- 監査のスキルアップへの貢献